



平成 30 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 和弘食品株式会社
代表者 代表取締役社長 和山 明弘
(コード番号 2813)
問合せ先責任者 執行役員 経理部長 市川 敏裕
(TEL 0134-62-0505)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 11 日に公表しました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の第 2 四半期（累計）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,624	37	32	45	55.00
今回修正予想（B）	4,883	15	37	8	10.17
増減額（B - A）	259	52	70	36	
増減率（%）	5.6	-	-	-	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 30 年 3 月期第 2 四半期）	4,370	48	42	8	10.15

（注）当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。（ご参考）に記載の「1株当たり四半期純利益」は前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、引き続き外食市場および中食市場向け業務用調味料の販売が好調に推移し、業績予想数値比 5.6%の増加となりました。

利益面につきましては、海外子会社の工場稼働率の上昇により製造原価率が低減したことで損失額が改善し、国内においては、原材料価格の上昇、雇用環境の改善などを背景とした人件費の増加に加え、物流費の上昇が損益に影響したものの、売上高が順調に伸長し、営業利益以下全ての段階利益が予想を上回る見込みとなりましたので予想を修正いたします。

また、通期の業績予想数値につきましては、現時点では未確定要素が多く予想が困難であることから、平成 30 年 5 月 11 日に公表した業績予想数値は変更しておりません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上